

QM46 ローラー取り外し手順

ハイデルベルグ・ジャパン(株)

3 ローラの取り外し

3.1 第1印刷ユニットのローラの取り外し

ローラを取り外す前の作業:

- ① 湿し水タンクを取り外します。
- ② 湿し装置の上のガードを開きます。
- ③ 水皿を取り外します。
- ④ ガードを閉じます。
- ⑤ インキつぼからインキを取り出します。
- ⑥ インキ装置と湿し装置を洗浄します。
- ⑦ ローラ洗浄装置を取り外します。

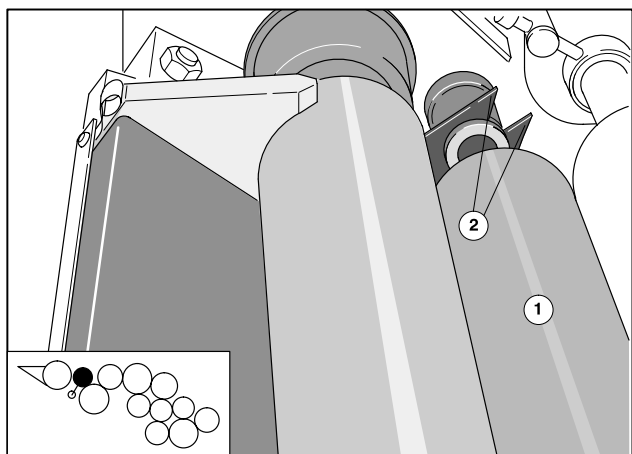


図4 インキ呼び出しローラの取り外し

インキ呼び出しローラ

- ① 呼び出しローラ(図4/①)の両端のジャーナルを持ち、ローラを持ち上げて受け(図4/②)から外します。

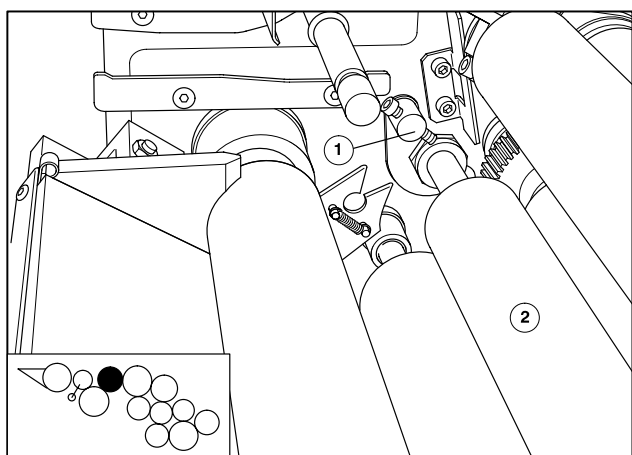


図5 第1インキ移しローラの取り外し

第1インキ移しローラ

- ① 駆動側と操作側のレバー(図5/①)を下げます。
- ② ローラ(図5/②)を取り外します。

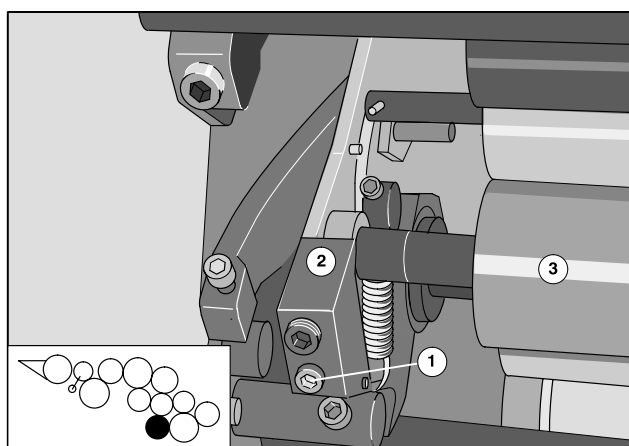


図6 第4インキ移しローラの取り外し

第4インキ移しローラ

- ❶ 付属のホルセットレンチでネジ(図6/❶)を緩めます。ネジは、駆動側および操作側のラッチ(図6/❷)から抜けません。
- ❷ 駆動側と操作側のラッチ(図6/❷)を下に倒します。
- ❸ 第4インキ移しローラ(図6/❸)を、軸受けからデリバリの方向に取り外します。

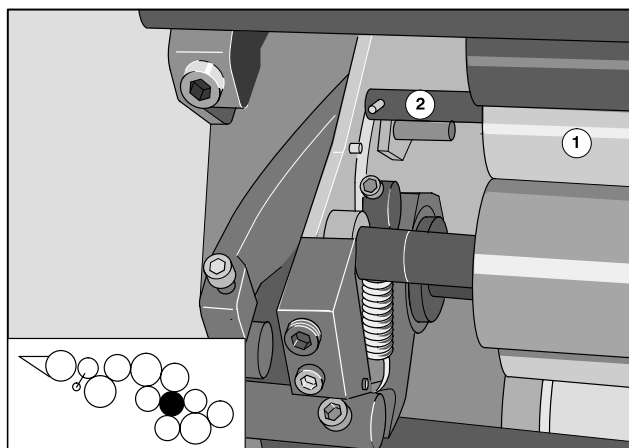


図7 第3インキ移しローラの取り外し

第3インキ移しローラ(リルサン)

- ❶ 第3インキ移しローラ(図7/❶)のシャフト(図7/❷)を持って、軸受けから抜き取ります。

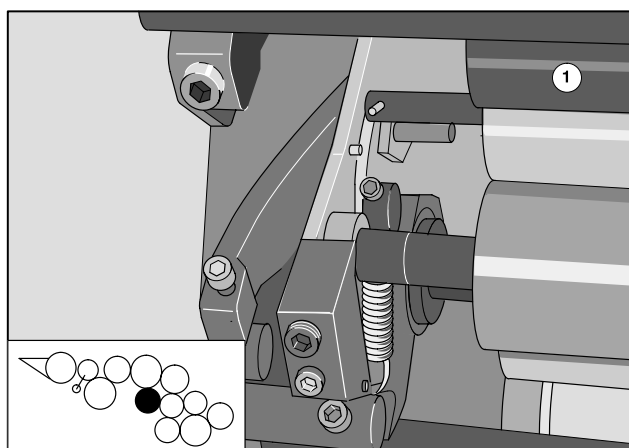


図8 第2インキ移しローラの取り外し

第2インキ移しローラ

- ❶ 第2インキ移しローラ(図8/❶)を圧胴の方向に押して、軸受けから取り外します。

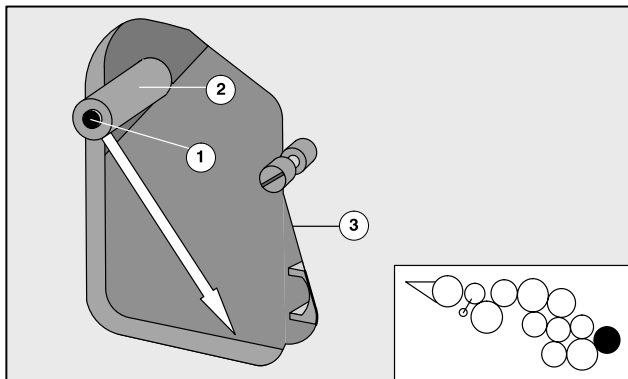


図9 第3インキ着けローラの取り外し

第3インキ着けローラ

- ❶ 第1印刷ユニットの操作側カバーを開きます。
- ❷ ブラケット洗浄装置を取り外します。
- ❸ 付属のホルセットレンチでネジ(図9/❶)を完全に緩めます。
- ❹ インキ着けローラのシャフトからスリーブ(図9/❷)を抜き取ります。
- ❺ インキ着けローラのシャフトを持って、矢印の方向に下げます。
- ❻ ローラを注意深くシャフトから抜き取ります。このとき、サイドフレームの穴(図9/❸)でローラを損傷しないように注意してください。

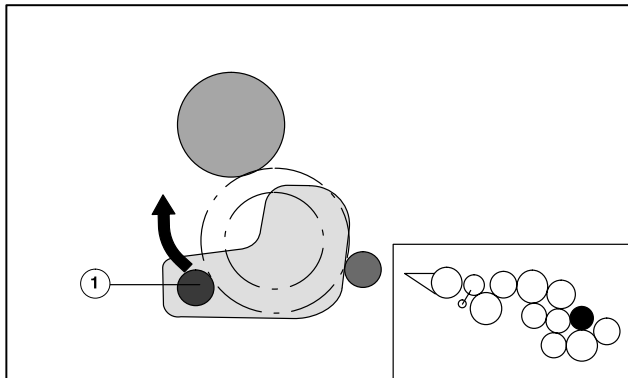


図10 第2インキ着けローラの取り外し

第2インキ着けローラ

- ❶ 駆動側と操作側のジャーナルボックスのレバー(図10/❶)をいっぱいに上げます。
- ❷ インキ着けローラを取り出します。

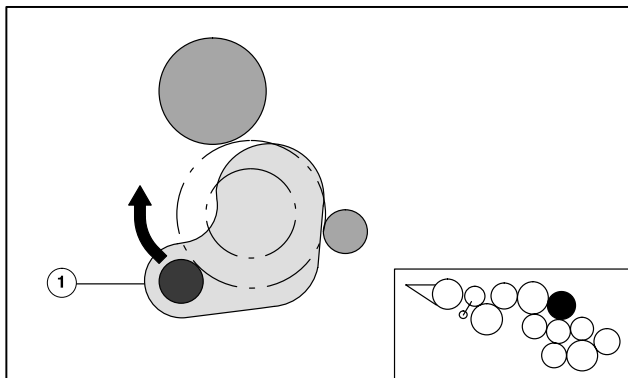


図11 第1インキ着けローラの取り外し

第1インキ着けローラ

- ❶ 駆動側と操作側のジャーナルボックス(図11/❶)にあるレバーをいっぱい上げて、ローラを上に取り出します。レバーは、ローラを版胴の方向に少し押すと、動かしやすくなります。

3.2 第2印刷ユニットのローラの取り外し

ローラを取り外す前の作業:

- ❶ 給版テーブルをデリバリ側に倒します。
- ❷ 第2印刷ユニットのインキ装置の上のガードを開きます。

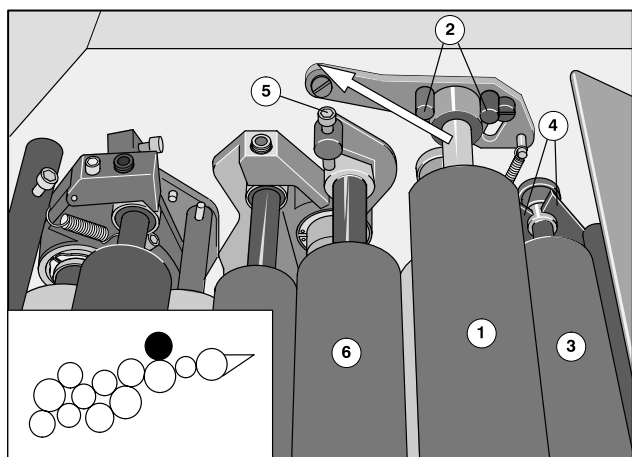


図12 ライダーローラの取り外し

ライダーローラ

- ❶ ライダーローラ(図12/❶)を矢印の方向に押し、ボルト(図12/❷)の下から取り外します。

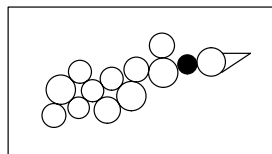


図13 インキ呼び出しローラ

インキ呼び出しローラ

- ❶ 呼び出しローラ(図12/❸)の両側のジャーナル(図12/❹)を持ち、ローラを持ち上げて受けから外します。

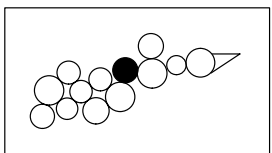


図14 第1インキ移しローラ

第1インキ移しローラ

- ❶ 駆動側と操作側のレバー(図12/❺)をインキつぼの方向に倒します。
- ❷ 第1インキ移しローラ(図12/❻)を取り外します。

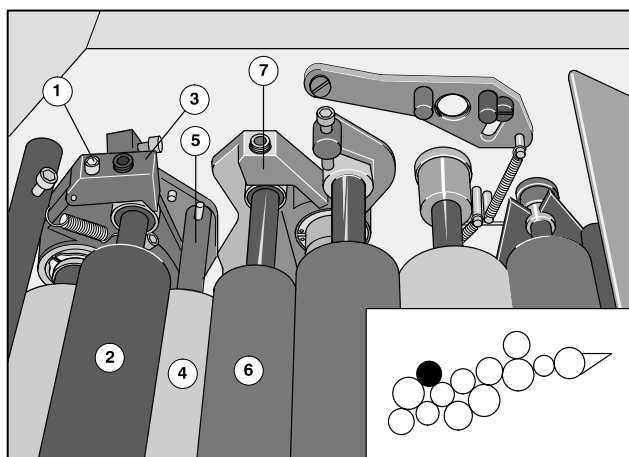


図15 第4インキ着けローラの取り外し

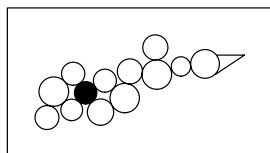


図16 第3インキ移しローラ

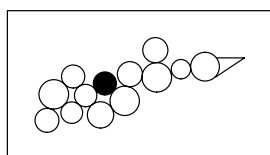


図17 第2インキ移しローラ

第4インキ移しローラ

- ❶ 付属のホルセットレンチでネジ(図15/❶)を緩めます。ネジは、駆動側および操作側のラッチから抜けません。
- ❷ 駆動側と操作側のラッチ(図15/❸)を上げます。
- ❸ 第4インキ移しローラ(図15/❷)の両側を同時に軸受けから外します。

第3インキ移しローラ(リルサン)

- ❶ 第3インキ移しローラ(図15/❷)のシャフト(図15/❸)を持ち上げて、ローラを軸受けから抜き取ります。

第2インキ移しローラ

- ❶ 第2インキ移しローラ(図15/❷)をデリバリの方向に押して、駆動側と操作側の軸受け(図15/❷)から取り外します。
- ❷ 第2インキ移しローラを取り出します。

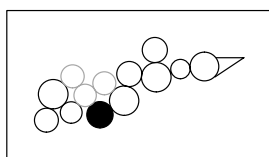


図18 第1インキ着けローラ

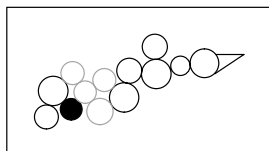


図19 第2インキ着けローラ

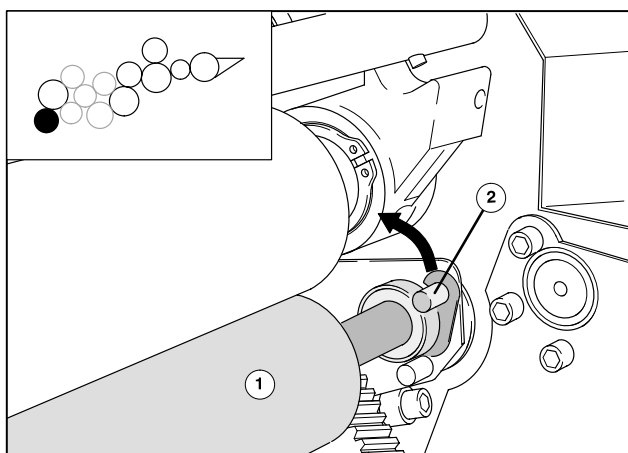


図20 操作側の軸受けからの第3インキ着けローラの取り外し

第1インキ着けローラ

- ① 駆動側と操作側のジャーナルボックスにあるレバーをフィーダ側に倒して、ローラを上に取り出します。レバーは、ローラを版胴の方向に少し押し、動かしやすくなります。

第2インキ着けローラ

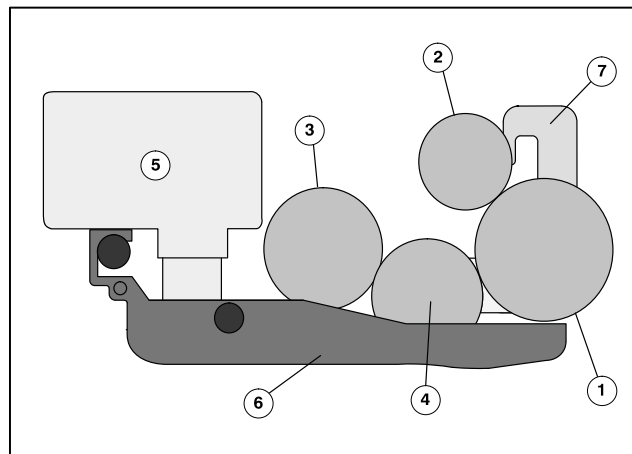
- ① 駆動側と操作側のジャーナルボックスにあるレバーをフィーダ側に倒して、ローラを上に取り出します。レバーは、ローラを版胴の方向に少し押し、動かしやすくなります。

第3インキ着けローラ

- ① 第1印刷ユニットの版胴の上のガードを開きます。
- ② 駆動側と操作側のジャーナルボックスにあるレバー(図20/②)を上げます。
- ③ 第3インキ着けローラ(図20/①)を取り外します。

2 ローラ配置図

2.1 第1印刷ユニット

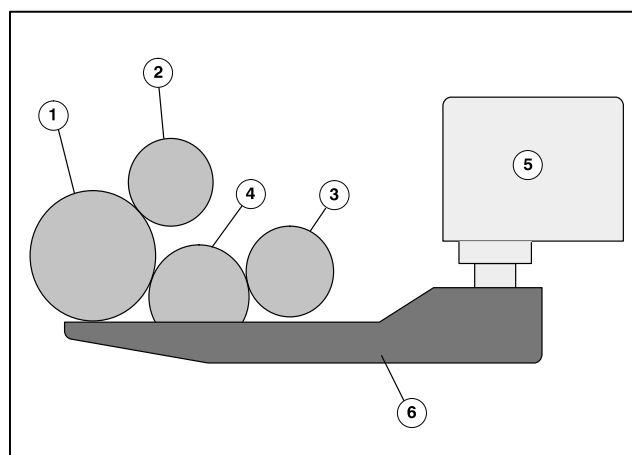


- ① 水着けローラ、63mm径
- ② 水ならしローラ(リルサン)、42.5mm径
- ③ 湿しローラ(ゴム)、54mm径
- ④ 水元ローラ(硬質ゴム)、51mm径
- ⑤ 湿し水タンク
- ⑥ 水皿
- ⑦ サイドシール

水元ローラ(図1/④)は取り外せません。

図1 第1印刷ユニットの湿し装置

2.2 QM46-2の第2印刷ユニット



- ① 水着けローラ、63mm径
- ② 水ならしローラ(リルサン)、42.5mm径
- ③ 水計量ローラ(ゴム)、44mm径
- ④ 水元ローラ(硬質ゴム)、51mm径
- ⑤ 湿し水タンク
- ⑥ 水皿

第2印刷ユニットについては、湿し装置を装置ごと取り外します(「5.5 第2印刷ユニットのローラの取り外し」を参照してください)。

水元ローラは湿し装置から取り外せません。

図2 第2印刷ユニットの湿し装置

3 水皿

3.1 第1印刷ユニット

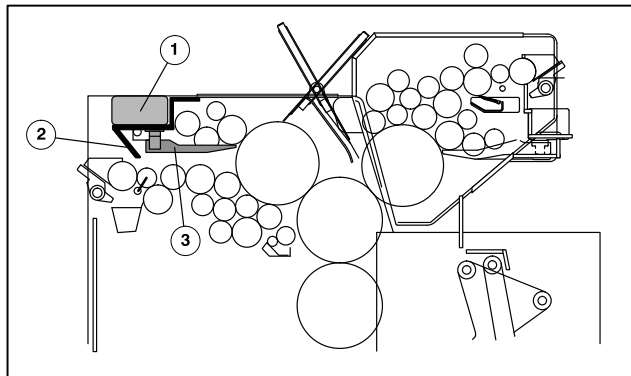


図3 水皿の取り外し

3.2 第2印刷ユニット

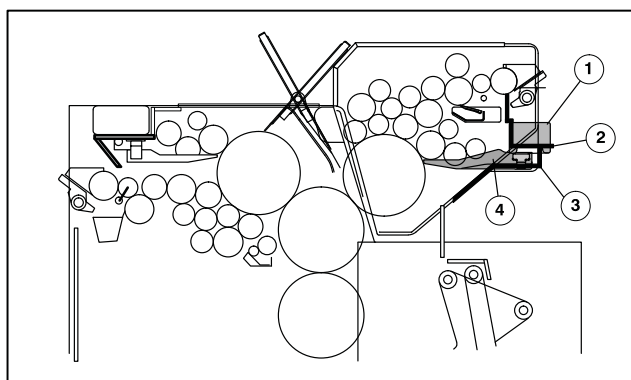


図4 水皿の取り外し

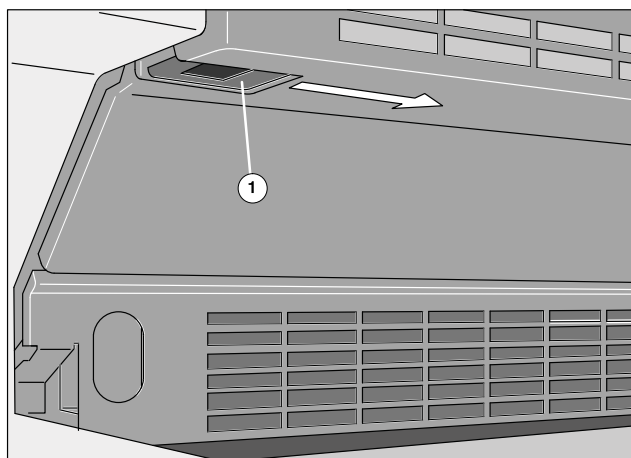


図5 湿し装置の下のガードとロック

水皿の取り外し

- ❶ 湿し装置のガードから湿し水タンクを持ち上げて取り出します。バルブは自動的に閉じます。
- ❷ 湿し装置の上のガードを上を開きます。
- ❸ 水皿を取り外します。

水皿の取り付け

- ❶ 水皿を2本の支持ボルトの下から印刷機に入れます。このとき、水皿の両側に付いてるボルトをサイドフレームのガイドの間にに入れてください。
- ❷ 水皿の後端を支持ボルトにはめます。

水皿の取り外し

▶ **注**
 湿し装置を洗浄位置に設定するときは、
事前に水皿(図4/④)を取り外します。

- ① 湿し水タンク(図4/①)を上を持ち上げて取り外します。
- ② 湿し装置のガード(図4/②)を上を開きます。
- ③ 湿し装置の下、ガード(図4/③)の左右にあるロック(図5/①、図は操作側)を中央に押して、ガードを下を開きます。
- ④ 水皿をサイドフレームから外し、印刷機から水平に取り出します。このとき、水皿の先端と水元ローラが接触しないように、水皿を支持バーの上にてできるだけ長くのせた状態で取り出してください。

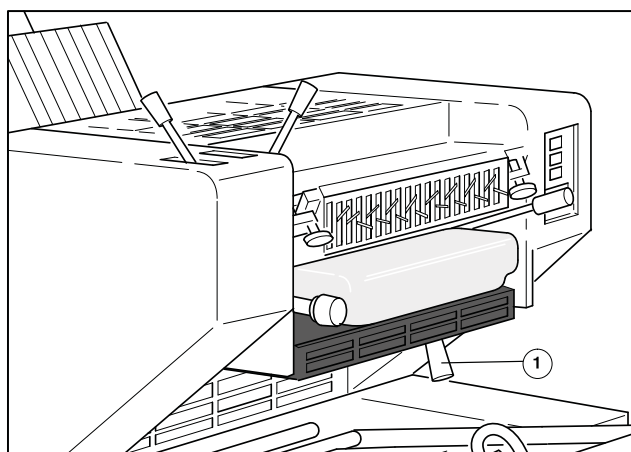


図6 インキ装置と湿し装置の切り離し

水皿の取り付け

- 湿し装置が洗浄位置に設定されていると、水皿を差し込めません。
- ① レバー(図6/①)を下げて、湿し装置をインキ装置から切り離します。
- ② 水皿(図7/①)を、湿しローラの下にある支持バーにのせて差し込みます。このとき、水皿の両側に付いているボルト(図7/②)を、サイドフレームのガイドに入れてください。
- ③ ガードを閉じます。

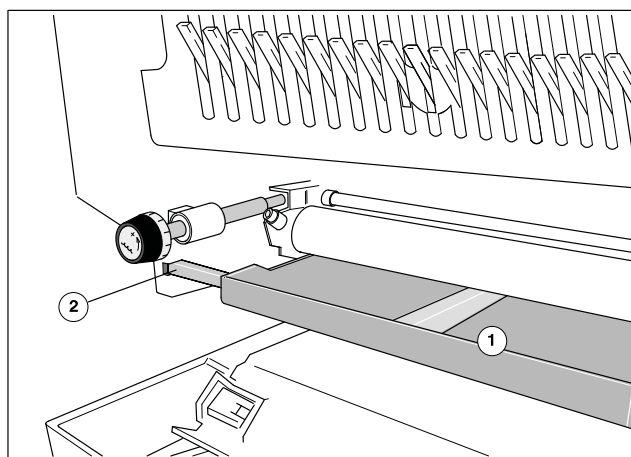


図7 水皿の取り付け

4 第1印刷ユニットのサイドシール

4.1 サイドシールの取り外し

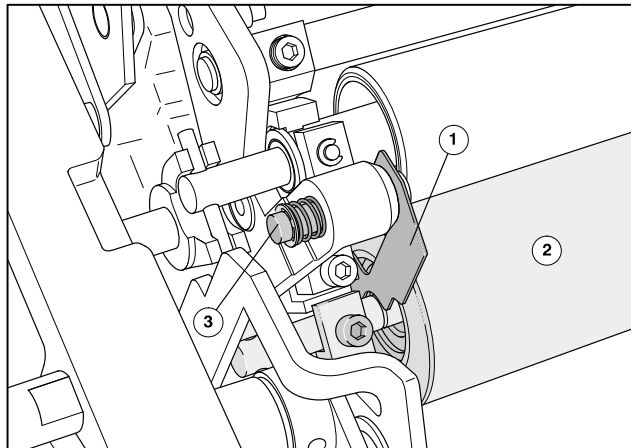


図8 湿し装置のシール

湿し装置のサイドシール(図8/①)は、第1印刷ユニットにだけ付いています。このシールは、水着けローラと水元ローラのすき間を横からふさぐためのものです。サイドシールは毎日取り外して清掃してください。

水着けローラ(図8/②)を取り外すときは、必ず、事前にサイドシール(図8/①)を取り外してください。

- ① 湿し装置の上のガードを閉じます。
- ② 版胴の上のガードを開きます。
- ③ 湿し装置のサイドフレームにあるスプリングボルト(図8/③)を、印刷機の中央に向かって押します。
- ④ サイドシール(図8/①)を版胴側に倒しながら、上に向かって抜き取ります。
- ⑤ 反対側のシールも同様にして取り外します。
- ⑥ シールを清掃します。

第2印刷ユニットの湿し装置にはサイドシールはありません。

4.2 サイドシールの取り付け

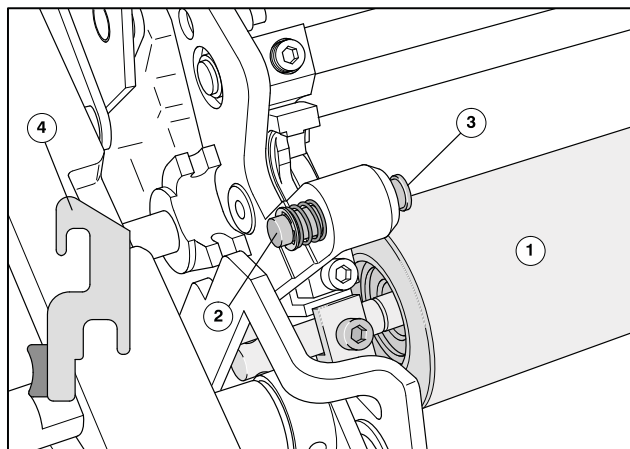


図9 湿し装置のシールの取り付け

清掃の後や水着けローラ(図9/①) および水ならしローラを取り付けた後は、サイドシール(図9/④)を取り付けなければなりません。サイドシール(プラスチック製)がローラ本体の方を向き、シール取り付け部の面取りされた側が版胴の方を向くように取り付けてください。

- ① 水着けローラのスイベルレバーと水着けローラの側面の間に、シール(図9/④)を差し込みます。
- ② 湿し装置のサイドフレームにあるスプリングボルト(図9/②)を、印刷機の中央に向かって押します。
- ③ 押し出されたピン(図9/③)に、シール取り付け部の鍵型に曲がった箇所をはめて、軽く下に押します。
- ④ スプリングボルト(図9/②)から手を離します。
- ⑤ 反対側のシールも同じ方法で取り付けます。
- ⑥ 版胴の上のガードを閉じます。

5 湿しローラ

5.1 第1印刷ユニットのローラの取り外し

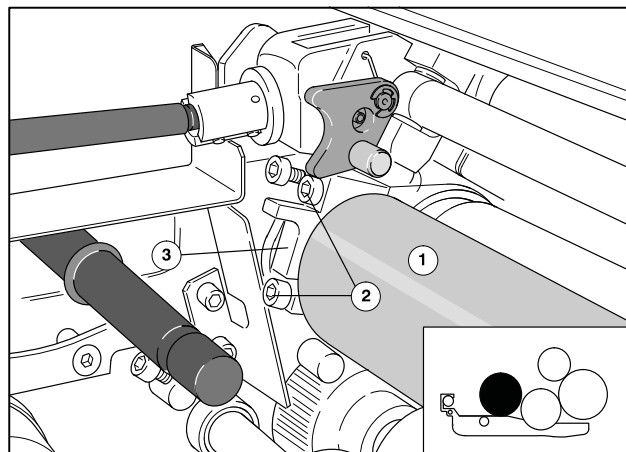


図10 湿しローラの取り外し

湿しローラ(ゴム)

- ① 湿し装置のガードを開きます。
- ② 付属のホルセットレンチを使って、軸受けキャップ(図10/③)のネジ(図10/②)を緩めます。このネジは軸受けキャップから取り外せません。
- ③ 軸受けキャップ(図10/③)を外します。
- ④ 反対側についても同じ作業をします。
- ⑤ 軸受けから湿しローラ(図10/①)を取り外します。
- ⑥ 湿し装置のガードを閉じます。

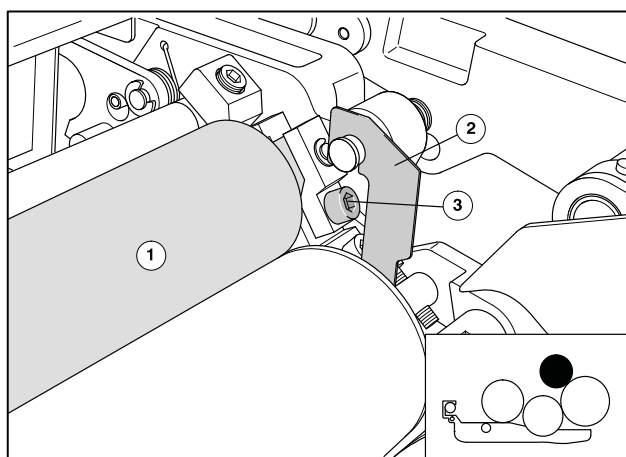


図11 水ならしローラの取り外し

水ならしローラ(リルサン)

- ① 版胴上のガードを開きます。
- ② 湿し装置のサイドシール(図11/②)を取り外します。
- ③ 付属のホルセットレンチで駆動側と操作側のネジ(図11/③)を締めます。このネジはキャップから取り外せません。
- ④ キャップを取り外します。
- ⑤ 水ならしローラ(図11/①)を、シャフトの軸受けブッシュと共に、軸受けから取り外します。水ならしローラを取り外すときは、カップリング(水ならしローラのシャフトを横切っているピン)に特に注意してください。

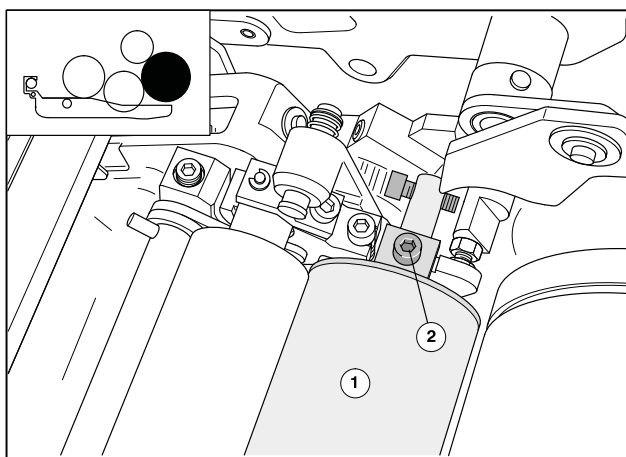


図12 水着けローラの取り外し

水着けローラ

- ① 水着けローラを版面から上げます。
- ② 「湿し水量の調整」つまみを左にいっぱい(「6」)まで回します。
- ③ 付属のホルセットレンチを使って、水着けローラの駆動側と操作側のシャフトにあるネジ(図12/②)を緩めます。ネジ、キャップ、およびバネは、水着けローラのシャフトから取り外せません。
- ④ 水着けローラ(図12/①)のシャフトを軸受けから持ち上げて、ローラを取り外します。

5.2 第1印刷ユニットのローラの取り付け

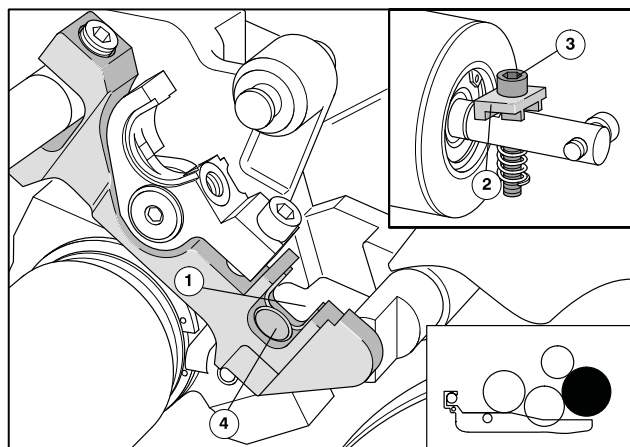


図13 水着けローラの取り付け

水着けローラ

- ❶ 版胴の上のガードを開きます。
- ❷ ローラを取り付ける前に、キャップ(図13/❷)を回して、下に曲がっている部分をローラシャフトの溝にかみ合わせてください。
- ❸ 水着けローラのシャフトを軸受け(図13/❶)に入れます。このとき、シャフトのバネを軸受けの穴(図13/❷)に差し込んでください。ローラのシャフトのアンダーカットは、常に操作側を向いていなければなりません。
- ❹ ホルセットネジ(図13/❸)を締めて、水着けローラのシャフトを両側の軸受けの穴(図13/❷)に固定します。ネジを締めるときに、キャップを回さないように注意してください。

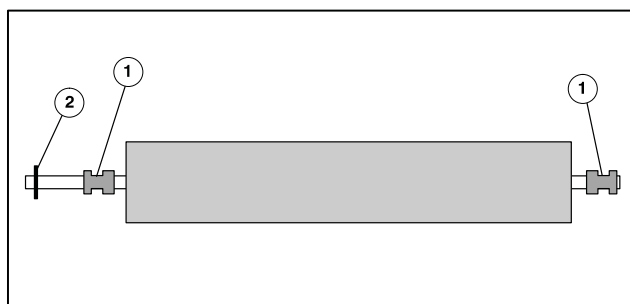


図14 水ならしローラ(リルサン)

水ならしローラ(リルサン)

- ❶ 水ならしローラを軸受けに差し込む前に、ローラのシャフトの軸受けブッシュ(図14/❶)を横にずらして軸受けシェルと合わせてください。

ローラを横振りさせるための駆動ピン(図14/❷)は、操作側に向けます。

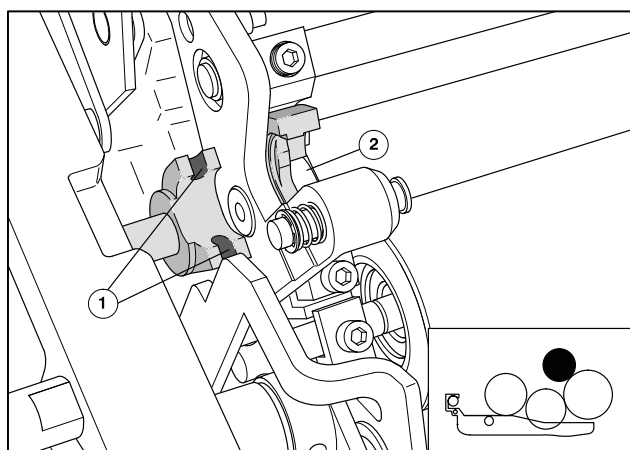


図15 水ならしローラの取り付け

- ❷ 水ならしローラのシャフトにある駆動ピン(図14/❷)を、操作側の溝(図15/❶)にはめながら、ローラを差し込みます。このとき、最初に位置合わせをした軸受けブッシュを、ジャーナルボックス(図15/❷)に入れてください。ローラを差し込むときに、軸受けブッシュを傾けないようにしてください。

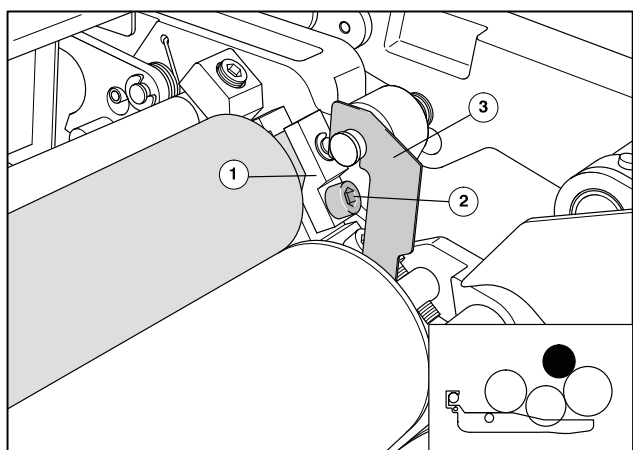


図16 水ならしローラの取り付け

- ③ キャップ(図16/①)をシャフトにかぶせてから、ホルセットネジ(図16/②)を締めて軸受けに固定します。
- ④ サイドシール(図16/③)を元どおりに取り付けます。
- ⑤ 版胴の上のガードを閉じます。

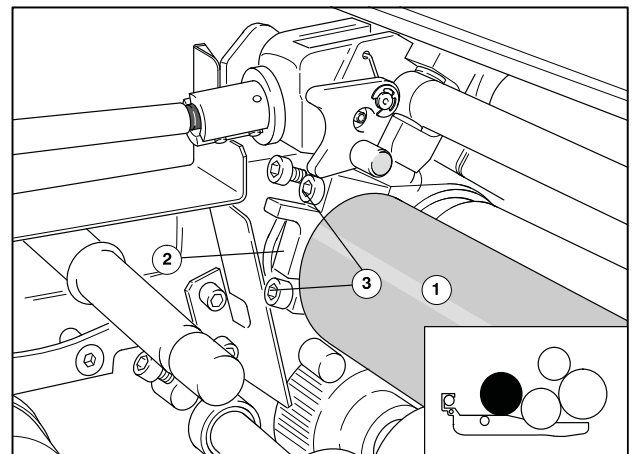


図17 湿しローラ(ゴム)の取り付け

湿しローラ(ゴム)

- ① 湿し装置の上のガードを開きます。
- ② ボールベアリング付きの湿しローラ(図17/①)を、駆動側と操作側の軸受けに差し込みます。
- ③ 軸受けキャップ(図17/②)を、ローラのシャフトにかぶせます。このとき、駆動側と操作側に正しいキャップが取り付けられていることを確認してください。
- ④ 2本のホルセットネジ(図17/③)を締めて、軸受けに軸受けキャップを固定します。
- ⑤ 反対側についても同じ作業をします。
- ⑥ 湿し装置の上のガードを閉じます。

5.3 第1印刷ユニットのローラの調整

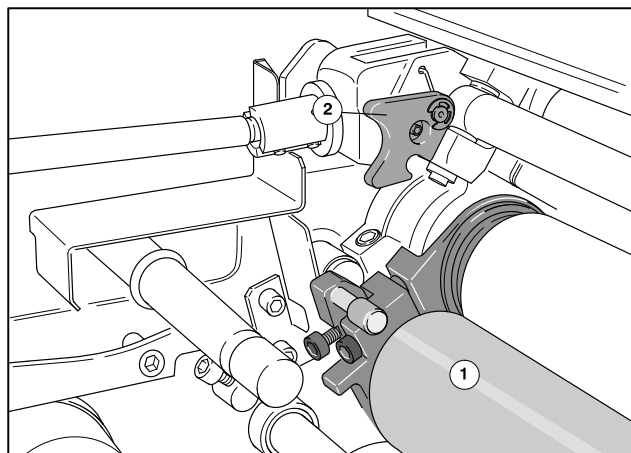


図18 湿し装置にインキを撒く

ローラを調整するときは、次の点に注意してください。

- すべてのローラが取り付けられていること。
- 湿し装置にインキがムラなく撒かれていること (明るい色のインキを撒いてください)。
- 刷版を装着していること。

- ① 湿し装置にインキを撒くには、湿しローラ(図18/①)をインキ練りローラに接続します(洗浄位置、図18を参照してください)。
- ② 湿し装置にインキをムラなく撒きます。
- ③ 湿しローラ(図18/①)を上げて、レバー(図18/②)にかみ合わせます。
- ④ 印刷機を始動して停止し、数秒待ちます。次に、ローラマークが見える位置まで、印刷機を寸動してください。

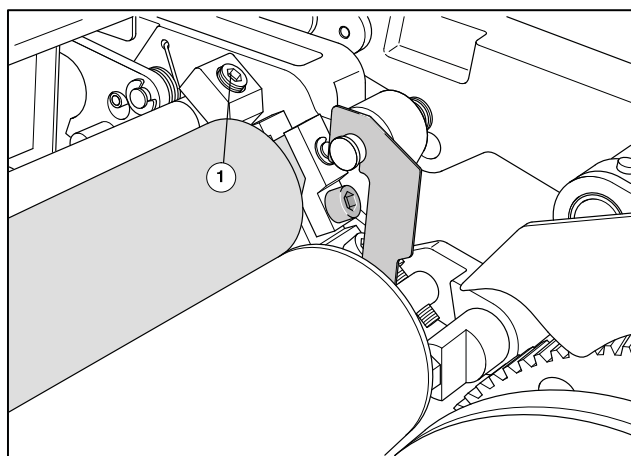


図19 水着けローラ/水元ローラのニップ幅の調整

水着けローラ – 水元ローラ

水着けローラと水元ローラとのニップ幅は、湿し水量が最大のときに1～1.5mmになるよう出荷前に設定されています。この値を大きく(0.2mmを超える程度)逸脱しているようなら、次の手順で調整してください。

- ① 「湿し水量の調整」つまみを「6」に設定します。
- ② 印刷機を始動し、「停止」ボタンを押して停止します。
- ③ 水着けローラと水元ローラとのニップ幅をチェックします(1～1.5mm)。ニップ幅は、駆動側、操作側とも同じ幅でなければなりません。

必要な場合は、次の手順で調整してください。

- ④ ニップ幅が1～1.5mmになるように、イモネジ(図19/①)を回して調整します。ネジを右に回すとニップ幅が広がります。左に回すと狭くなります。

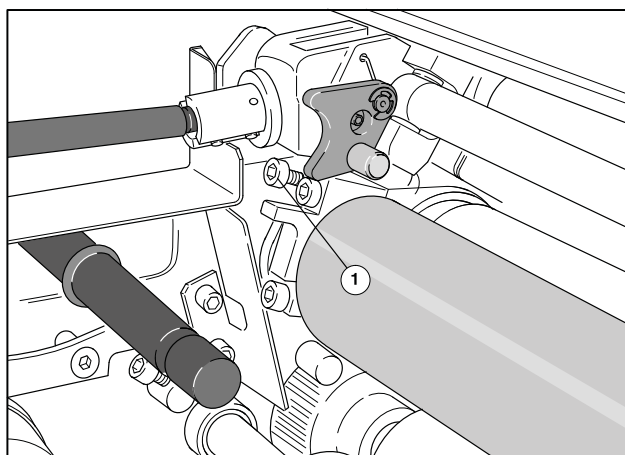


図20 水元ローラに対する湿しローラの調整

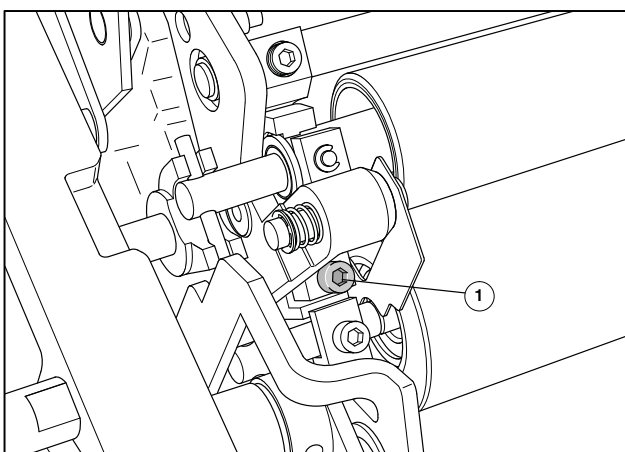


図21 水着けローラに対する水ならしローラの調整

湿しローラ – 水元ローラ

- 調整ネジ(図20/①)を回して、ニップ幅を2.5～3.5mmに設定します。ニップ幅は、ローラの端から端まで同じでなければなりません。

調整ネジの回転方向: 右に回すとニップ幅が広がります。左に回すと狭くなります。

水ならしローラ(リルサン) – 水着けローラ

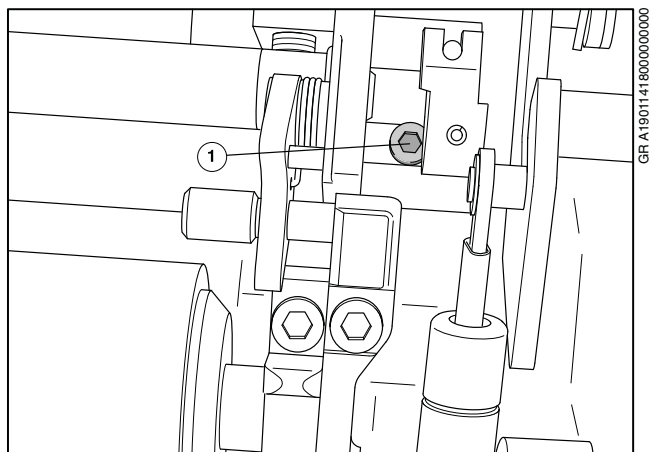
- 駆動側と操作側の調整ネジ(図21/①)を回して、ニップ幅を1.8～2.2mmに設定します。ニップ幅は、ローラの端から端まで同じでなければなりません。

調整ネジの回転方向: 右に回すとニップ幅が広がります。左に回すと狭くなります。

水着けローラ – 版面

- 「湿し水量の調整」つまみを「1」に設定します。
- 湿し装置にインキを撒きます。
- インキが均等に行き渡るように、印刷機を2～3回転します。
- 印刷機を回転させたままで、「特殊機能」ボタンを押してください。ディスプレイには、前回に呼び出した特殊機能のコード番号が表示されます。
- テンキーで「01」と入力して、SF01「水着けローラON/OFF」を呼び出します。
- 「+」ボタンを押してください。ディスプレイに「ON」と表示されます。水着けローラが版面に降ります。
- 印刷機を数回転して、版面にインキを撒きます。
- 「停止」ボタンを押して、印刷機を停止し、そのまま数秒間待ちます。

- ⑨ 「-」ボタンまたは「特殊機能」ボタンを押してください。水着けローラが上がります。
- ⑩ 版面のローラマークが見える位置まで、印刷機を寸動します。



ニップ幅は、厚さ0.15mmの刷版を装着している場合、3mmが適切です。

- ⑪ ニップ幅をチェックして、必要なら水着けローラのシャフトの調整ネジで調整します。
- ⑫ 版胴の上のガードを閉じます。
- ⑬ 湿し装置のガードを開きます。
- ⑭ 付属のホルセットレンチを使って、調整ネジ(図22/①、図は操作側)を回します。

調整ネジの回転方向: 右に回すとニップ幅が狭くなります。左に回すと広がります。

図22 水着けローラの調整ネジ

5.4 第2印刷ユニットのはねよけガード

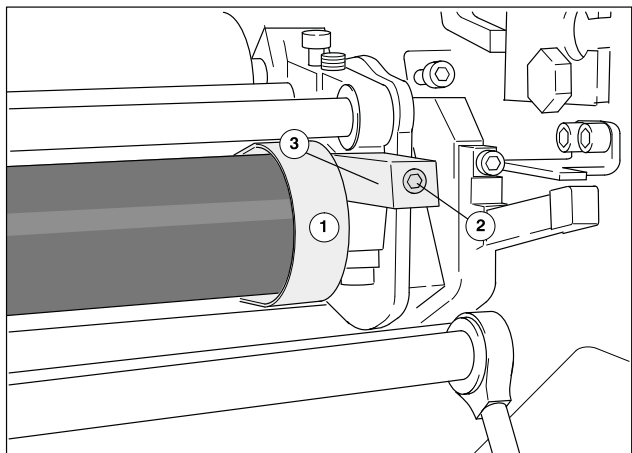


図23 駆動側のはねよけガードの取り外し

はねよけガードの取り外しと清掃

計量ローラの駆動側と操作側にあるはねよけガード(図2223/①)は、1週間に1回チェックして、汚れているようなら清掃してください。

- ① 湿し装置の上下にあるガードを開きます。
- ② 水皿を取り外します。
- ③ 付属のホルセットレンチを使って、ネジ(図23/②)を完全に緩めます。ネジは、はねよけガードのサポート(図23/③)から取り外せません。
- ④ はねよけガード(図23/①)を下に倒して、サポート(図23/③)から抜きます。
- ⑤ 反対側のはねよけガードも同じ方法で取り外してください。

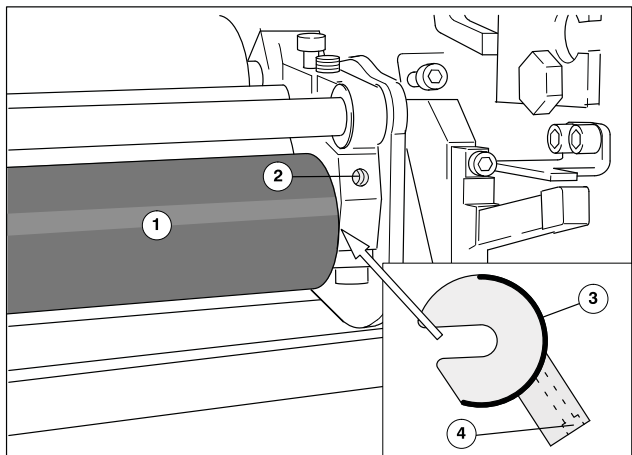


図24 駆動側のはねよけガードの取り付け

はねよけガードの取り付け

清掃の後や、湿し装置を取り付けた後は、計量ローラ(図24/①)の両端にはねよけガードを取り付けてください。

- ① はねよけガード(図24/③)を、計量ローラ(図24/①)のシャフトにはめます。
- ② はねよけガードを、サポートと共に上いっばいに上げます。
- ③ 湿し装置の穴(図24/②)にネジ(図24/④)を差し込んで、付属のホルセットレンチで締めます。
- ④ 反対側のはねよけガードも同じ方法で取り付けてください。

5.5 第2印刷ユニットのローラの取り外し

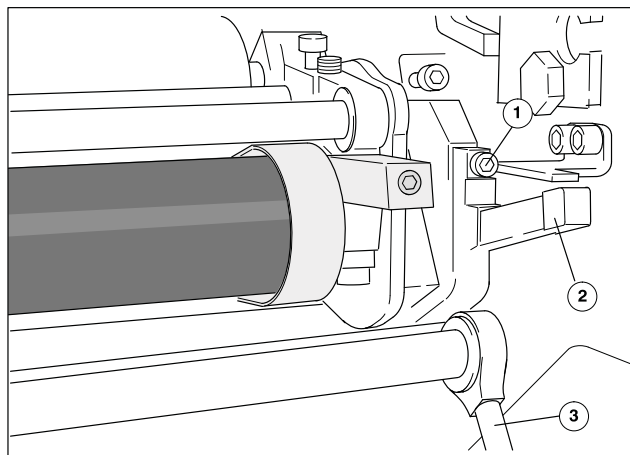


図25 湿し装置の取り外し

ローラを洗浄していたときは、湿し装置をインキ装置から切り離します。

- ① 「湿し水量の調整」つまみを押し込んで、左にいっぱいまで回し、つまみを取り外します。

湿し装置の取り外し

湿しローラを取り外すには、湿し装置全体を印刷機から取り出さなければなりません。

- ② 湿し装置を取り外す前に、横振りローラが操作側の反転位置に達するまで、印刷機を寸動します。
- ③ 湿し装置の前のガードを開きます。
- ④ 付属のホルセットレンチで、駆動側と操作側のスイベルレバーのネジ(図25/①)を緩めます。このネジはレバーから取り外せません。
- ⑤ 操作側と駆動側のスイベルレバー(図25/②)を下に倒します。
- ⑥ 湿し装置を少し後ろに傾けて、印刷機から取り出します。

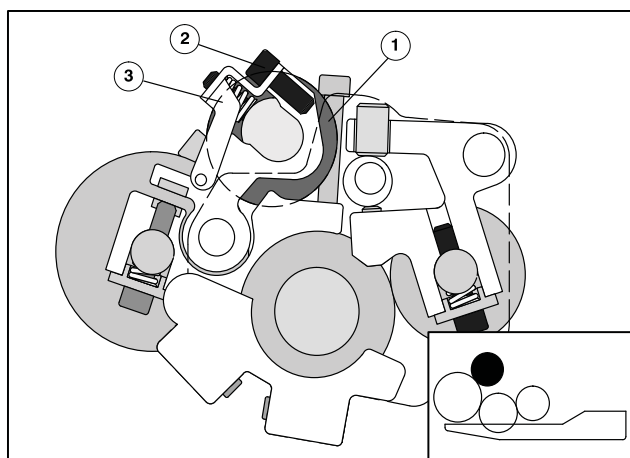


図26 水ならしローラの取り外し

水ならしローラ

- ① 付属のホルセットレンチで、駆動側と操作側のネジ(図26/②)を完全に緩め、ネジを外してから軸受けキャップ(図26/③)を上上げます。
- ② 水ならしローラ(図26/①)を、シャフトの軸受けブッシュと共に軸受けから取り外します。

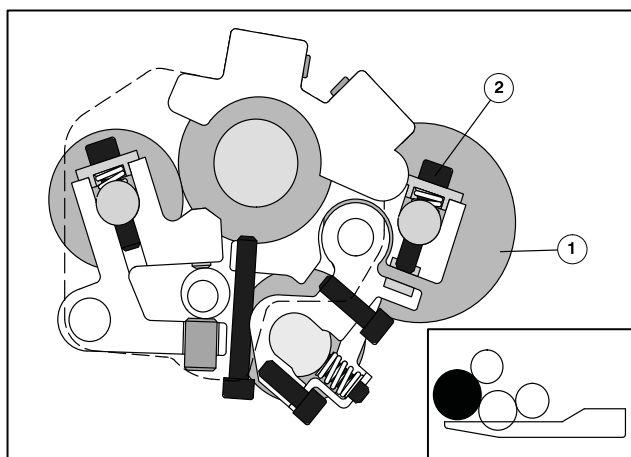


図27 水着けローラの取り外し

水着けローラ

- ❶ 湿し装置の上下を逆にします。
- ❷ 付属のホルセットレンチで、駆動側と操作側のネジ(図27/❷)を完全に緩め、キャップおよびバネと共にローラのシャフトから取り外します。
- ❸ 水着けローラ(図27/❶)を軸受けから取り外します。

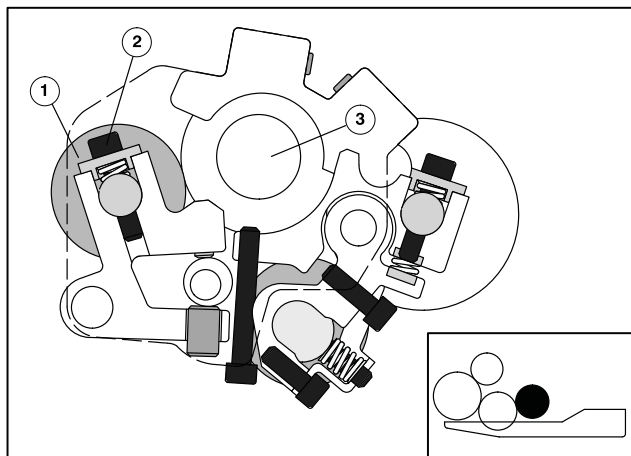


図28 水計量ローラの取り外し

水計量ローラ(ゴム)

- ❶ 付属のホルセットレンチで、駆動側と操作側のネジ(図28/❷)を完全に緩め、キャップおよびバネと共にローラのシャフトから取り外します。
- ❷ 水計量ローラ(図28/❶)を軸受けから取り外します。

水元ローラ(図28/❸)は取り外せません。

5.6 第2印刷ユニットのローラの取り付け

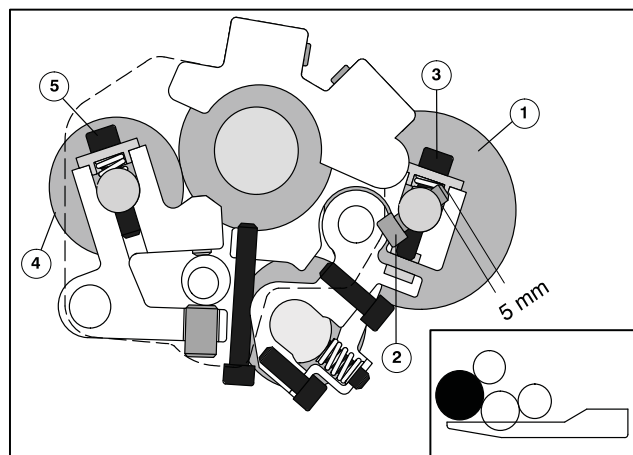


図29 水着けローラの取り付け

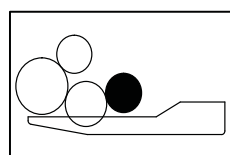


図30 水計量ローラ

水着けローラ(図29/①)と計量ローラ(図29/④)は、ホルセットネジで軸受けに固定し、さらにその上に、キャップとバネを取り付けます。バネは、各ローラのシャフトの切り込みにはめてください。

水着けローラ

- ① 水着けローラの軸受けが上向きになるように、湿し装置の向きを逆にします。また、このとき、軸受けシャフトの調整ネジ(図29/②)の頭が水ならしローラの方を向くようにしてください。
- ② 水着けローラのシャフトを、シャフトの切り込みが上を向くように軸受けに差し込みます。

水着けローラを交換するとき: 駆動側と操作側の青い調整ネジ(図29/②)が、シャフトから5mm突き出るようにしてください。必要なら、調整ネジが5mm突き出るまで、付属のホルセットレンチで調整ネジを回してください。

- ③ ホルセットネジ(図29/③)を、キャップおよびバネと共に水着けローラのシャフトに差し込んで、ローラを軸受けにネジ止めします。

水計量ローラ(ゴム)

- ① 計量ローラのシャフトを、シャフトの切り込みが上を向くように軸受けに差し込みます。シャフトのアンダーカットは、常に、操作側を向いていなければなりません。
- ② ホルセットネジ(図29/⑤)を、キャップおよびバネと共に計量ローラのシャフトに差し込んで、ローラを軸受けにネジ止めします。

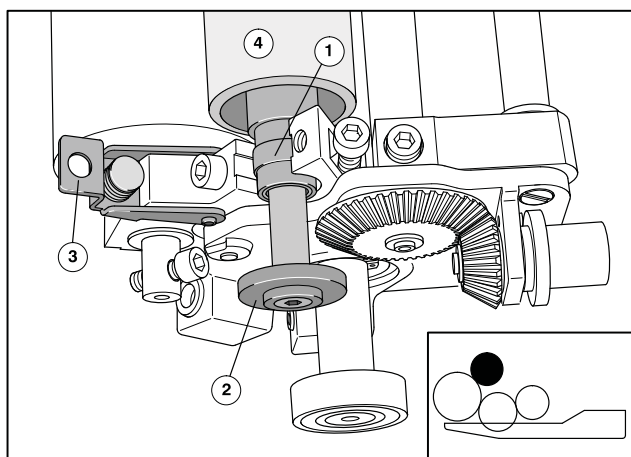


図31 水なしローラ(リルサン)の取り付け

水なしローラ(リルサン)

- ❶ 湿し装置の上下を逆にします。
 - ❷ 軸受けブッシュ(図31/❶)を、水なしローラのシャフト上で横にずらして、軸受けシェルに合わせます。横振りのための駆動プレート(図31/❷)は操作側にあります。
 - ❸ 水なしローラを取り付けます。ローラの軸受けブッシュを、軸受けシェルに入れてください。
 - ❹ 軸受けキャップ(図31/❸)を軸受けブッシュ(図31/❶)の上に倒します。
 - ❺ 軸受けキャップ(図31/❸)をホルセットネジで軸受けに固定します。
- 清掃のためだけにローラを取り外していたときは、取り付け後にローラを調整する必要はありません。
 - 湿しローラを交換したときは、湿し装置を調整しなければなりません。このためには、すべての調整ネジを、ローラどうしがちょうど触れ合う位置まで回します。設定をチェックするには、ローラを回転させてください。